

# SPECIAL LECTURE

日時 10月18日（日）  
11：30～12：20

時間帯につきましては変更となる可能性があります



## 経験から共有知へ：半側空間無視の臨床思考

半側空間無視は、脳卒中後のADLや社会参加に大きな影響を及ぼす一方で、評価や介入の判断に悩む場面も少なくありません。本講演では、これまでの研究と臨床経験をもとに、半側空間無視の病態理解から評価、介入までの考え方を整理し、臨床に活かせる視点をご紹介します。

また、病識やセルフアウェアネス、代償戦略の獲得に着目した支援のあり方や、高次脳機能障害支援の今後についてもお話しいただきます。脳卒中リハビリテーションに携わる作業療法士をはじめ、多くの臨床家にとって学びの機会となる内容です。

※上記文章は講師の抄録を元に実行委員が作成しています。



大松  
聡子  
氏

【所属】

畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター 客員准教授

【資格】

2013年 畿央大学大学院 健康科学研究科 修士過程 修了

2019年 畿央大学大学院 健康科学研究科 博士過程 修了

【社会貢献】

2011年 2月～現在 日本作業療法士協会, 学会演題審査委員

2015年10月～現在 認知神経リハビリテーション学会, 評議委員

2020年10月～現在 日本臨床作業療法研究学会

学術誌「日本臨床作業療法研究」査読委員

2023年 4月～現在 一般社団法人日本作業療法士協会, 学術誌「作業療法」査読委員

【略歴】

2008年 広島大学 医学部保健学科 卒業

2008年 おおくまりリハビリテーション病院（現はくほう会セントラル病院）入職

2010年 医療法人穂翔会村田病院 入職

2017年 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 運動機能系障害研究部 研究員

2020年 国立障害者リハビリテーションセンター病院 入職

2024年 株式会社デジリハ 研究開発部 入職

2024年 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター 研究員

2025年 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター 客員准教授